

# 平成28年度 福島市の未来を医療で担う夢応援事業 「医療体験セミナー」

8月11日ビッグバレットふくしまで開催

福島県教育委員会が中学生の夢の実現に向けての後押しと、福島県の地域医療に貢献できる人材育成を目的として実施しました。

県内の全中学生を対象にし、一堂に会した医療体験セミナーは国内では初めての試みで、300名定員を大きく上回る416名の応募がありました。会場を急きょ変更し、全員に参加していただきました。

## 事業内容

### 白熱教室

- 実際の医師と中学生が話し合う
- テーマは「脳のはたらきから考える近未来社会の話をしよう」

### 医療体験

- 医師や看護師の体験のほか薬剤師から臨床心理士等といった広い分野の医療体験ができました
- 医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、言語聴覚士、臨床心理士等を紹介・体験  
また、国内外のトップ医療機器メーカーの協力も得て、内視鏡や電気メスなどの体験もできました

※県では、今年11月から県内各地の病院等で医療を体験できる医学教室を開催。

**子供たちの夢から現実の目標へと変わったイベントでした。**



## 白熱教室

福島県 病院事業管理者 丹羽 真一先生

「脳のはたらきから考える近未来社会の話をしよう」をテーマに医師と中学生が語り合いました。

## ミニ講演

「生と死を考えてみよう」  
公立岩瀬病院 名誉院長 吉田 直衛先生

『正しく食べることが健康維持には重要で、生命には最後があることに気付ける医療』を目指して、長年地域医療に貢献してきた医師の先生から、命の大切さについてお話をいただきました。

「微生物からつくられる薬」  
一般社団法人福島県薬剤師会  
副会長 島貫 英二先生

皆さんが飲む薬も実は生命から作られていることをご存じですか？古くは、カビから作られた薬（抗生物質）である「ペニシリン」。最近では遺伝子組み換え技術で作られた「インスリン」など様々なものがあります。そうした薬のお話を、薬剤師の先生にお話をいただきました。



## 医療体験セミナー

未来の医療人を探すべく?!  
ブースを構え中学生に医療体験を♪  
どれも大盛況!

- ① 医師体験………模擬診察指導
- ② 看護師体験………包帯巻き・聴診器体験、  
妊婦体験、高齢者体験
- ③ 管理栄養士体験………栄養食を考える体験
- ④ 理学療法士体験………実際の理学療法技術の体験、身体の動きの特性等に関する体験
- ⑤ 臨床工学技士体験………人工呼吸器・人工心肺装置・人工透析器等の体験
- ⑥ 薬剤師体験………模擬調剤で薬剤師体験、アロマオイルを混合した練香水作成を体験)
- ⑦ 医療機器体験………内視鏡手術トレーニングBOXにて手技体験・超音波凝固切開装置体験、自動縫合器体験、腹腔鏡での実際の見え方の体験、電気メスでの肉の切離実演、体腔内結紮の実演と体験
- ⑧ 作業療法士体験………自助具（生活を助ける道具）体験
- ⑨ 言語聴覚士体験………失語症リハビリ体験や、エレクトロラリンクスを使ったお話体験、嚥下聴診体験
- ⑩ 臨床心理士体験………ストレスチェック体験コーナー

